

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 162 号)

発行日：2021 年 (R3) 1 月 20 日 編集/発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788  
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail：[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)



平年並みと言われていた今年の冬。給湯器のパイプが凍ったり水道管の破裂も。池の氷に人が乗れる日もありました。と思えば春のような陽気も。「平年並み」に意味が無くなっているのでは？しかし、楽しみ方はいろいろあります。最近はやりの焚火やスケートもどき。冬ならではの楽しみ方を探してみてもちょっと命がけもあるかも…。

前の大寒波は 2018 年。この時も -10℃前後まで気温が下がりました。昨年が異常に暖かかっただけに堪えます。若い方(子ども含め)はどう感じているのでしょうか？

かたや、ついにコロナ緊急事態宣言。なんだかんだと言いながら、1 年もコロナに振り回されています。田舎ではピンとこない現実も。しかし、コロナウイルスはどこにでもいるのでしょね。手消毒、マスク励行していきましょう。今年中には落ち着きが戻ってくるに違いありません。ワクチンはどうなるのか？なぜかワクチンも自分の問題とは思えないのが不思議です。

(今住 1 月 19 日作成)

## 定期活動

### ★12 月 27 (日) 定期活動 14 名で活動 第 3 湿原又マガヤ刈り

昨年より早い又マガヤ類刈り取り作業です。網引湿原(加西市)、松尾湿原(宝塚自然の家内)、



ゆきゆきて神?軍!

皿池湿原(三田市)もだいたい 12 月ごろの草刈りが多いようです。秋の草花の種が落ちるのを待っての作業。丸山湿原ではなぜか 1 月スタートが多かったのですが、両生類卵塊数調査に間に合わせるのに毎年ヒヤヒヤ。で、12 月スタートとなりました。

刈り払い機を使えるメンバーが増えてきたこともあり、効率的に刈り取りは進んでいます。今日は第 3 湿原すべてを終了させるのが目標です。なんと刈り払い機 5 台投入! 会が持っているのは 2 台?あと 3 台は...。神様からのレンタルか? 1 台はなんと 20 年オーバーの機械。しかし、快調に動きます。使っているのも 70 年オーバーの肉体。どちらが先に壊れるか少々心配?失礼。でもどちらも大活躍。

湿原はみるみる刈り取られていきます。運び出しも同時作業。これがやはりきつい。他の管理団体さんも苦労されていると思います。しかし凄いことにサークルを作って堆肥にしたり、カントリーヘッジを作って生き物のゆりかごにしたりといろいろ工夫もされています。うちかというと、運び出すだけで精一杯。「ま~出来ることを出来る範囲でいいじゃな



20 年オーバーの刈り払い機作業



作業前のヌマガヤ



作業後 ちょっと引きの画像

いか」と、だれも非難していないのに言い訳を。ついつい見栄が出てきます。「よし！やろうじゃないか！」と声が出てきたときには考えましょう。堆肥は場所的にちょっと無理かと思いますが、カントリーヘッジは自然にできている？ではこれでいいか？ご意見を。

作業は順調に進み、第3湿原の刈り取りは予定通りに終了。水が多くイヌノハナヒゲ（犬鼻髭）のところは残しました。実は私の長靴に穴（駄々洩れ）があったのも要因の一つですが、基本ヌマガヤ狙い。

さらに、周囲のササ類や倒れ込んだ倒木も処理。こちらは監督と御大が中心に。数年来湿原の端に積み上げていたヌマガヤ（沼茅）も完全に外へ運び出しました。気になっていたのですが、なかなか手が付けられ



第3湿原西側斜面もバッチリ

なかつた。知らんぷりしていたところを、きちんとやっていただきました。手作業班の実力。（特に、班分けはしていませんが...。）

これでセトウチサンショウウオ（瀬戸内山椒魚）も産卵に来やすくなった？逆に狙われやすくなるという意見もありますが...。セトウチサンショウウオはだいたい湿原内（やや乾燥した切り株の下や丸太の下）に潜んでいることが多いようです。ルーティンになっている作業の中で消えていることはない。大丈夫でしょう。

次回は第1湿原。本丸。頑張ろう！寒いやろか？寒いのはいややな、せめて天気の良いことを祈りましょう。

### 宝塚市からの消耗品支給第2弾

宝塚市から2回目の消耗品支給。今回は、温度計とファーストエイドキット（救急セット）、そして安全長靴です。



感謝 今年度最後の支給品  
 かったらちゃんと報告します。なんか情けないな～。

宝塚市環境政策課さん、注文から手配まで迅速に対応していただきありがとうございました。

実は今使っている温度計は調子がおかしい。使い方の問題なのかもしれませんが、我々にはなじまない器械だったようです。で、シンプルに家庭用の温度計。結構優れもので、最低気温と最高気温を記憶します。画像は1月の活動日の日向での温度。この日は三田で $-10^{\circ}\text{C}$ をアメダス（標高 150m）が観測しています。普段は西谷の方が $0.6^{\circ}\text{C}$ ほど低いといわれています。（標高 220m ぐらいで）西谷の最低気温は活動日での報告で。

ファーストエイドキットも、あったのですが謎の行方不明。私が間違えて持ち帰った？倉庫のどこかに紛れ込んでいる？いろいろ探し回ったり、聞きまくったりしたのですが見つからず。購入から数年経過していますので、更新ということでご勘弁ください。ついつい自分を疑ってしまいます。本当に無いからね…。もし見つ

**定期活動** ★1月9日(土) 定期基礎調査 第1湿原又マガヤ刈り 7名で活動

目的	市内	市外	場所	時間	気温【水温】	電気伝導度 (EC)	PH
丸山	48	33	入口	10:00	1.2℃		
ハイキング	1	25	第3湿原	10:35	【2.2℃】	39.0 μS/cm	6.9
散歩・登山	17	27	視点場	10:49	2.6℃	39.3 μS/cm	6.9
来場者数 計 151人 (竹筒ポスト人数)			第1湿原	11:02	【0.6℃】	39.4 μS/cm	6.6
			第2湿原	11:21	【0.8℃】	41.3 μS/cm	6.7

基礎調査日ですが、この時期は又マガヤの刈り取りが急がれるので、作業と並行した活動になります。観察できる動植物が少ないこともあるしね。

皿池湿原のブログ(守り人のブログ)を覗いてみると、イノシシにかなり荒らされている様子。丸山も毎年イノシシの遊び場になっていますが、猟期になるとピタッと止まります。絶対畏の標識を読んでるに違いない。いつも言いますが適度な攪乱につながることを願います。いい例として、又マガヤの根が掘り起こされて水が戻っているところもあるので。



三田に負けた！-8.1℃  
(西谷出張所) 辺りでデータ取っているのでしょうか？ご存知の方おられましたら教えてください。

**天気には恵まれ晴れ。しかし気温は上がりず。湿原は凍てついて氷の世界です。どこでも歩ける感じ。**

又マガヤは黄金色に輝き、まるで「金色の野」のようです。とくれば、「その者青き衣をまといて金色の野に降り立つべし」というフレーズが出てくるのはジブリオタク？今は「竈門さん」ですね。またいらん話になりました。



凍てついた湿原 どこでも歩ける？

里地の田んぼや畑にも全くいい事なしです。それで、そこら中電気柵や、鉄製メッシュだらけになっています。シカの動向も心配です。うまくコントロールできればいいのですが…？

さて、活動です。この日はとにかく寒かった！最低気温-8.1℃。例の温度計で計測。三田に負けた！何を勝負しているかはよくわかりませんが、厳しい自然環境のほうが何か張り合いが出るようで…。

しかし単純にどこの方が寒いとは言えないですね。西谷にはアメダスないし。消防署



金色の野に降り立った〇〇〇〇

その「金色の野」の刈り取りです。これは今回だけでは無理。1月末の活動で第1湿原を片付ける予定です。そして2月初めは「両生類卵塊数調査」のセンサスラインの設置と第4湿原刈り取り。と、うまくいきますか？

又マガヤは毎年よくこんなに伸びるものだと感心します。毎年の刈り取り圧で多少は小さくなっているか？という感じ。弱らせるにはやはり夏場の刈り取りが有効でしょうが、他の植



氷上のPH計



出水口の氷柱(ツララ)

物との関係もあるしね。やはり今の形を継続か。

茶色ばかりの写真ですが、ごくごく真面目に休憩も取らずに（止まったら寒いからですが）黙々と作業は進んでいきました。



ちょっと分かりにくいごみ

刈り取った又マガヤは環境学習（作業体験）で片付けていただく予定。  
（全部じゃないよ）「緊急事態宣言」の中、来てくれるのか一抹の不安が……。と思っていると不安は的中。校外学習中止のお達しが来たとか…。

幼稚園（民間）の来訪も予定されています、それもちょっとあてにしているのは不謹慎でしょうか？こちらは来られるか？

ごみも見つかります。視点場の床面隙間から落としたのか、手鏡とミンティア（キャンディー）のケース。これは不可抗力？見つけたので回収しました。

刈り取った又マガヤの中からは、両生類卵塊数調査のラインセンサーポイントが現れました。あと少し頑張りましょう。



又マガヤの中からポイントが

**両生類セミナー・卵塊数調査予告** ★2月27日（土）会場と広島をオンラインでつなぎます。

会場参加は40名限定。オンライン視聴可！まだ未確定要素あり。

毎年2回行っている丸山湿原セミナー。夏は見送りましたが、両生類卵塊数調査とセットの両生類セミナーはなんとしてもやりたい。広島の田口さんに連絡を取ると、やはり広島からは出にくいとの返事。オンライン開催の提案がありました。ところが、西谷にはオンライン対応の施設がありません。???おー！思い出しました！「環境都市宝塚推進市民会議」がモバイルルーターを持っていることを。PC含めお借りすることで実施計画進行中です。まだ細かいところが詰められていないので、申し込みは2月に入ってからになります。

会場は「西谷ふれあい夢プラザ 屋内活動室」。「西谷の森公園」を考えていたのですが、コロナ禍で定員が半分の20人までと対応が厳しい状況。（実際何人集まるかはわかりませんが…。）そこで、電波状況もよく**コロナ禍でも100人まで収容可能な「西谷ふれあい夢プラザ 屋内活動室」と**しました。しかも**40名限定**。（会員は別枠）

今年のテーマは、「①セトウチサンショウウオって？②両生類には毒がある？③オオサンショウウオ最新情報」の3本立て。オオサンショウウオ研究の最前線を走っている田口さんからどんなお話が聴けるか楽しみです。午後は丸山湿原でいつもの卵塊数調査。今年は何だけ見つかるのでしょうか？ひょっとして無いかも？自然相手だからね。皆さんご参加ください。

申込み方法等については2月に入ってからのご連絡になります。HPをチェックしてください。1ページにQRコードあり。電話・メール等でも対応予定です。しばらくお待ちください。

**丸山湿原群保全の会**

丸山湿原群保全の会（実行団体）

丸山湿原・コミュニケーション推進協議会（主催）

兵庫県阪神北東民局・宝塚市（共催）

環境都市宝塚推進市民会議（後援）

お問い合わせ  
丸山地区まちづくり協議会事務局内  
連絡先 090-1895-8061（今住）  
E-mail: maruyamashitugengun@gmail.com

**丸山湿原セミナー**

**両生類卵塊数調査**

**無料**

**オオサンショウウオを**

**追いかける男が**

**その名は**

**田口 勇輝**

（博士 ハンザキ研究所理事）

この講演は**会場でも自宅でも**  
見ていただくことができます。  
コロナ対策ガイドライン順守  
この男の話をお聞かないのはもったいない

会場**40名限定**

広島からリモート出演！

午後13時頃、時頃まで  
丸山湿原両生類モニタリング調査

（各自風呂の後、湿原に移動）

講演テーマ「オオサンショウウオの毒」

①午後の部 10時30分～12時  
宝塚市地域複合施設  
「西谷ふれあい夢プラザ」屋内活動室

令和3年2月27日（土）

未確定要素の多いチラシ 数年前に見たような？

**次回活動** 24日（日）2月13日（土） 27日セミナー・両生類卵塊数調査 3月13日（土）